

つくる責任! つかう責任!

サステナビリティ社会を考えたレザーグローブ!

サステナブル レザーグローブ



サステナブルレザーグローブ®
SUSTAINABLE LEATHER GLOVES

地球環境の保護と消費者に安心で安全な、
LWG認証レザーを使用したワーキンググローブです。

サステナブルレザーグローブ
WEBサイトLWG認証レザーの詳細情報は
QRコードをご利用ください。



<https://slg.work>

床革手袋背縫い手袋

床革手袋といえばこのタイプ。脱着便利なストレートタイプ。

- 革質が安定していて、手に馴染むちょうど良い厚みの牛床革背縫い手袋の普及品
460100 SLG-100 革手袋背縫
- 革質が良く、革の厚みがあり、強度がある牛床革背縫い手袋(SLG-100の上位グレード)
460101 SLG-101 革手袋背縫A

素 材 : 牛革(LWG認証レザー)
サイズ : フリー(全長約24.5cm)
入 数 : 120双(12双×10束)/ケース



オイルレザー床革レインジャータイプ手袋

自分の手の形に育てる手袋!柔軟でソフトな風合い、
少し小さめに作られた手袋で、装着後自分の手の形に伸び、馴染んできます。
(水ぬれても固くなりにくいオイルレザー)

- 厚みも程よく、使用するほど自分の手の形に伸び、馴染み、手首マジックでフィット感抜群です。
460162 SLG-302 OMW オイルマジック
- 革質が良く、革厚、強度があり、使用するほど自分の手の形に伸び、馴染み、
手首マジックでフィット感抜群です。(SLG-302OMBの上位グレード)
460166 SLG-303 OMW オイルマジックA

素 材 : オイルなめし牛革(LWG認証レザー)
サイズ : フリー(全長約23.5cm)
入 数 : 120双(12双×10束)/ケース

環境に配慮したLWG認証レザーについて裏面も御覧ください。

革手袋も世界基準のブランド時代へ



LWG認証とは、国際団体であるLeather Working Group (LWG)が運営する認証制度であり、レザーに関わるブランド、タンナー、薬品メーカーから構成されます。その目的は、地球環境の保護と消費者に安心して安全な革を供給することです。LWG認証は、厳しい審査基準をクリアした製革業者に与えられるものであり、世界基準の品質と信頼性を保証しています。

① サステナビリティ社会を考える

LWG認証レザーは、以下のようなサステナブルな価値を持って製造されています。

1. 環境への配慮: 産業排水を直接、川や海、土壌に流さない
2. 製造工程における安全性: 使用禁止物質を排除し、製造工程での安全性を確保
3. 工場内の安全な設備: 適切な排水処理や労働環境を整え、従業員の安全を確保
4. 原料から最終工程までのトレーサビリティ: 製品の原料から最終工程までの過程を追跡可能にすることで、透明性と信頼性を提供



② 世界有名ブランドの調達変革!

世界的有名ブランドは、環境問題への配慮や消費者への安心安全なレザーの提供を目指し、LWG認証を取得しているタンナーからの素材供給を受けるようになってきました。これにより、高品質なLWG認証レザーを使用した製品が増え、持続可能な供給チェーンの構築が進んでいます。

③ 工業用手袋においてLWG認証レザーの使用は国内初の試み

弊社の革製品はインドで生産され、LWG認証工場で生産されています。しかしながら、国内の工業用向け革手袋市場では、LWG認証の認知度はまだ低く、LWG認証レザーを使用した工業用保護手袋は国内で初めての試みとなります。(LWG認証レザーは、国内で主に靴やバッグ、車のハンドルやシート、ソファ、時計のバンドなどには使用されています)



④ つくる責任! つかう責任! への取り組み



現在の工業用向け革手袋市場では、価格が重視される一方で、環境への配慮や使用者・生産者の安全性を考慮した手袋が少ない状況です。しかし、世界的にLWG認証レザーの重要性が認識される時代が既に始まっています。この機会に、ぜひご使用中の製品を見直し、サステナブルな選択肢を選んでいただきたいと思います。

Powering Innovation Together



株式会社 湘南ワイパーサプライ

<http://www.shonan-w-s.co.jp>

AND

LWG Certified Supplier



AHMAD INTERNATIONAL



LWGサイトへのアクセスはQRコードをご利用ください

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

[LWGサイト] <https://www.leatherworkinggroup.com/our-impact/>

未来の自分は、この選択を褒めてくれるかな。